

# 平成28年度事業報告書

公益財団法人東京防災救急協会

# 平成 28 年度 事業 報告 書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

都民が安心して暮らせる社会の実現を目指し、防火・防災・救急業務関係者の育成及び都民の防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する事業を積極的に推進した。

## I 公益目的事業

防火・防災業務関係者の育成、都民の防火・防災意識と行動力の向上、応急手当の普及啓発及び救急需要対策等として、次の事業を実施した。

### 1 公 1 事業

#### (1) 防火・防災・応急手当普及啓発事業 (公 1-1)

##### ア 普及啓発事業

- (7) 「自主防災」の発行 (5回 83,200部)  
防火防災に関する学識経験者の寄稿記事、防火・防災に関する情報及び協会の動向等について掲載し、一般都民や防災事業関係者に配布した。
- (4) 「てあて」の発行 (4回 32,000部)  
応急手当に関するトピックスや専門医等による救急医学知識の紹介を掲載し、一般都民、事業所、関係医療機関及び教育機関等に配布した。
- (9) 情報誌の統合に係る検討委員会の設置  
協会が発行している「自主防災」及び「てあて」を統合しリニューアルするため検討委員会を設置した。
- (5) ホームページ、フェイスブック、ツイッターを活用した情報提供
  - ・協会の事業概要、コンプライアンスに係る情報の発信  
ホームページアクセス件数 (1,102,521件)
  - ・各種講習、イベント、救命講習の案内及び申込受付等  
インターネットによる救命講習申込者数 (17,604名)
- (7) 火災予防運動週間における防火・防災普及事業
  - ・秋、春の火災予防運動週間に防火・防災に関する講演会を実施
  - ・火災予防運動週間ポスターの作成 (48,600枚 (秋・春))
- (7) 危険物安全週間、防災週間等における防火・防災普及事業
  - ・危険物安全週間ポスターの作成 (22,000枚)
  - ・防災週間ポスターの作成 (19,960枚)
  - ・避難施設安全注意喚起シールの作成 (17,000枚)
  - ・適正な火気使用器具等の取扱い周知のリーフレット作成 (33,150枚)
- (8) 応急手当普及事業
  - ・救急医療週間における応急手当普及事業  
救急セミナーにおいて応急手当普及員再講習を実施 (172名)  
第3回地域の応急手当普及功労表彰式 (9月9日)
  - ・東京マラソン2017現場救護所への救護員等の派遣 (2月26日)
- (7) 各種イベントへの参加事業  
各種イベントに参加し、各種情報の提供、防火・防災意識の向上及び応急手当等の普及啓発や防災、救急用品の展示等を実施した。
  - ・丸の内キッズジャンボリー (8月16日～18日)

- ・平成28年度東京消防庁救急セミナー (9月9日)
- ・東京トライアルハーフマラソン (10月29日)
- ・東京消防出初式 (1月6日)
- ・キッズホスピタルランド2017 (2月5日)
- ・東京マラソンEXPO等チャリティイベント (2月22日～25日)
- (h) 公募による防火・防災意識の普及啓発事業
  - ・防火防災標語公募事業
    - 防火防災標語公募チラシの作成 (50,000枚)
    - 防災標語及び危険物安全標語の最優秀賞表彰式の実施 (2月19日)
  - ・第13回地域の防火防災功労賞
    - 最優秀賞等表彰式の実施 (1月19日)
    - 事例集の作成 (12,000冊)
- (a) 自主防災活動等に対する助成事業
  - 防火・防災思想の普及活動を行う団体、応急手当の普及啓発を行う団体を対象に公募を行い、当該事業に対し助成した。 (284件)
  - 消防少年団の来館事業に対する助成を新たに開始した。 (35件)
- (g) 防災教育動画の制作
  - 広く都民に対して防災を普及し「自助」「共助」の重要性を伝えるため、防災教育動画「君の命を守りたい」を制作し、3月11日防災館において上映を開始した。
- イ 消防用設備等点検済表示制度事業
  - (7) 制度をより浸透するための広報を実施し、点検済票の貼付を促進した。
    - (表示登録事業者 355事業所 交付枚数 734,216枚)
  - (4) 登録事業者に対する各種講習の実施 (実技1回78名、学科1回76名)
  - (5) 点検推進指導員による登録申請内容の確認事務 (98件)
- ウ 救急車同乗研修者に対する研修成果向上と安全を目的とした感染防止資器材等のコーディネート事業 (879名)
- エ 東京民間救急コールセンター運営事業
  - (7) 救急需要対策として民間救急及びサポートCab(タクシー)の利用促進を図った。
    - ・協会ホームページ、情報誌「てあて」等を活用した広報の実施
    - ・リーフレットの配布
  - (4) 民間救急・サポートCab利用者への配車案内、普及広報及びレベルアップ方策を実施した。
    - ・配車受付 (1,198件)
    - ・相談件数 (843件)
    - ・コールセンター協議会員に対する教養・訓練 (11回)
- (2) 防火・防災・応急手当講習事業 (公1ー2)
  - ア 法令等に定められた資格取得講習
    - (7) 防火安全技術講習 (本講習3回211名、再講習8回969名)
    - (4) 防火管理技能講習 (本講習4回746名、再講習4回378名)
    - (5) 消防設備点検資格者講習
      - (本講習9回1,191名、再講習35回4,137名)
    - (a) 地下タンク定期点検技術者講習 (定期3回281名、初回3回134名)

- (h) 移動タンク定期点検技術者講習 (定期2回106名、初回1回36名)
- (h) 可搬消防ポンプ等整備資格者講習  
(一般講習1回38名、再講習1回56名、特例講習1回71名)
- (k) 防火対象物点検資格者講習 (本講習3回317名、再講習4回527名)
- (l) 防災管理点検資格者講習 (本講習3回275名、再講習3回299名)
- イ 資格取得のための受験準備講習会
  - (7) 危険物取扱者試験受験準備講習会 (甲2回89名、乙13回914名)
  - (l) 消防設備士試験受験準備講習会 (乙種六類2回72名)
  - (h) 自衛消防技術試験受験準備講習会 (35回2,160名)
- ウ 小規模社会福祉施設の勤務者のための防火実務講習会 (17回419名)
- エ 応急手当の普及啓発に関する講習会等
  - (7) 救命サポート講習 (58回1,912名)
  - (l) 救命講習インストラクターによる普及事業 (438回3,824名)
  - (h) 大規模事業所における救助・救命講習 (316回9,753名)
  - (e) 東京マラソン参加者、ボランティア等に対する福祉保健局、都医師会等と連携した大規模救命講習 (1月15日 828名)
- オ 防火安全セミナー (6月29日 288名)  
火災予防業務を適正かつ円滑に推進するため、事業所等の関係者に対し、消防関係法令の改正等に関する説明会を開催した。
- カ 防災シンポジウム2016 (9月17日)  
地域と若い世代とが積極的に連携を図りながら共助体制を築いていくため、地域協力して将来の防災リーダーを育成するもの。  
日本女子大学平田京子教授により熊本地震における自助・共助体制を踏まえた講演を開催した。 (300名)
- キ 室内安全セミナー (①8月31日 159名 ②3月10日 103名)  
都民に対する地震時における室内安全対策の周知啓発のため、有識者による講演会を2回開催した。
- (3) 防火・防災・救急関係調査研究事業 (公1-3)**
  - ア 調査研究、情報収集事業  
防火・防災、救急に関する情報の収集及び調査研究
    - (7) 防火・防災、救急の意識と行動力の向上に関する調査研究
    - (l) 救急指導能力向上に関する調査研究  
以下の学会で情報収集、調査研究を実施した。
      - ・第19回日本臨床医学総会兼学術集会 (5月12日～14日)
      - ・第25回全国救急隊シンポジウム (1月25日～27日)
    - (h) 事業所における効果的な自衛消防訓練指導のあり方に係る調査研究
    - (e) 外国人等に対する応急手当普及啓発教材等のあり方に関する調査研究
- (4) 試験確認事業 (公1-4)**
  - ア 少量危険物タンク試験確認 (5件)
  - イ 金属製180缶等試験確認 (8件)
- (5) 患者用救急自動車運行事業 (公1-5)**
  - ア 小児・新生児病院救急車運行事業 (出動470件、搬送人員442名)
  - イ 東京都福祉保健局緊急自動車運行事業 (出動1,558件、搬送人員1,313名)

## 2 公2事業

### (1) 防火・防災・消防講習事業（公2-1）

防火管理者、防災管理者、危険物取扱者及び消防設備士の育成を目的として、次の事業を実施した。

#### ア 防火・防災管理講習事業

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| (7) 防火・防災管理新規講習 | (204回 33,639名) |
| (1) 防災管理新規講習    | (14回 1,404名)   |
| (9) 乙種防火管理講習    | (45回 3,199名)   |
| (5) 甲種防火管理再講習   | (13回 1,407名)   |
| (7) 防火・防災管理再講習  | (28回 2,954名)   |

#### イ 消防講習事業

|                |              |
|----------------|--------------|
| (7) 危険物取扱者保安講習 | (33回 6,473名) |
| (1) 消防設備士講習    | (46回 9,649名) |

### (2) 救命講習事業（公2-2）

都民の応急手当の知識技術の向上を目的として、次の事業を実施した。

|                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| ア 普通・上級救命講習                           | (6,500回 239,122名) |
| イ 指導者用救命講習                            | (192回 3,113名)     |
| ウ 現場派遣員用救命講習                          | (33回 734名)        |
| エ 患者等搬送乗務員用救命講習                       | (25回 629名)        |
| オ 救命講習ポスターの作成                         | (28,700枚)         |
| カ 第58次南極地域観測隊夏季総合訓練への協力として上級救命講習(83名) |                   |

## 3 公3事業

消防に関する歴史的な遺産や装備の展示施設を活用した防火防災思想の普及啓発や、火災や地震等の模擬体験施設を活用した防災行動力の向上を目的として、次の事業を実施した。

### (1) 消防博物館運営事業（公3-1）

消防博物館において、所蔵品の公開展示、常設展示替え、特別企画展等を実施し、来館促進を図った結果、212,932人が来館した。

平成29年1月20日から、バーチャルフィッティング、大型タッチパネルモニターが導入された。

- ・春の企画展（4月29日～5月8日）  
「しかけ絵本と原画で学ぼう江戸火消！」
- ・親子防災体験（7月1日から9月30日）
- ・夏の企画展（7月26日～8月31日）  
「地震のふしぎメカニズムを知り、見て、触れて、体験しようー」
- ・四谷消ぼう祭（8月27日）
- ・防災週間・救急医療週間ミニ展示（8月30日～9月10日）
- ・都民の日特別企画（10月1日）  
「消防博物館バックヤードツアー」
- ・秋の企画展（10月29日～11月27日）  
「大岡越前と町火消一名奉行誕生から300年ー」
- ・クイズラリー（12月6日～27日）
- ・防火マジックショー（12月23日）

- ・防災とボランティア週間ミニ展示（1月15日～21日）
- ・冬の企画展（2月4日～3月12日）  
「火のふしぎー火と人のかかわり」
- ・宝探しツアー（3月25日～4月6日）
- ・乗車撮影会（4, 6, 9, 12, 1, 3月 計6回）

## (2) 防災館運営事業（公3-2）

池袋・立川・本所都民防災教育センター（防災館）において、火災や地震等の模擬体験施設の活用及び特別企画展等を通して、来館促進を図った結果、3館合計で288,428人が来館した。

次の各コーナーがリニューアルされた。

池袋防災館 119番通報コーナー（2月2日）

本所防災館 119番通報コーナー（2月2日）

暴風雨体験コーナー（3月11日）

### ア 池袋防災館

- ・新米パパママのための応急手当講習会（毎月第3日曜日）
- ・ゴールデンウィーク・子供の日特別企画（4月24日～5月8日）  
「防災体験して本物の消防車と一緒に写真を撮ろう」
- ・夏休み特別企画（7月25日～8月21日）  
「親子で学習 目指せ！防災博士」
- ・防災週間・救急医療週間特別企画（8月29日～9月11日）  
「ザ・サバイバル2016 見て！聞いて！試して！」
- ・都民の日特別企画（10月1日）  
「池袋防災館まつり」
- ・秋の火災予防運動（11月7日～11月14日）  
「突入火災多発期！防火対策は万全？」
- ・サンタと学ぶ今年の災害展（12月5日～12月25日）
- ・防災とボランティア週間（1月7日～1月21日）  
「我がまちを守ろう 防災展」
- ・春の火災予防運動（3月1日～3月8日）  
「見て！知って！なるほど納得！防災展」

### イ 立川防災館

- ・新米パパママのための応急手当講習会（毎月第2土曜日）
- ・ゴールデンウィーク・子どもの日特別企画（4月24日～5月8日）  
パネル展示「発見！立川消防防災施設を知ろう！」
- ・夏休み特別企画（7月17日～8月27日）  
パネル展示「最新消防車両特集・風水害特集」
- ・東京消防庁音楽隊（8月7日）  
「わくわく防災コンサート」
- ・防災週間・救急医療週間特別企画（8月28日～9月11日）  
パネル展示「関東大震災を中心とした過去の災害から現在の備えを学ぶ」
- ・都民の日特別企画（10月1日）  
「ぬり絵とペーパークラフトを作ろう」
- ・秋の火災予防運動特別企画（10月30日～11月13日）  
パネル展示「上半期の火災概要、119番通報」

- ・年末特別企画（12月10日～12月25日）  
パネル展示「年末に多く発生する事故とその防止対策」
- ・防災とボランティア週間特別企画（平成29年1月7日～1月22日）  
パネル展示「防災とボランティア週間、東京消防庁災害時支援ボランティアの活動・制度等、消防団の活動概要」
- ・春の火災予防運動特別企画（2月25日～3月11日）  
パネル展示「東京消防庁管内において平成28年中に発生した火災等」

#### ウ 本所防災館

- ・新米パパママのための応急手当講習会（毎月第3土曜日）
- ・ゴールデンウィーク特別企画（4月23日～5月5日）  
東京防災「もしもマニュアル」等の展示・体験
- ・子供の日特別企画展（5月3日～5月5日）  
都生活文化局と連携、日常生活におけるこどもの事故防止及び各種防災体験
- ・水防月間パネル展示（5月12日～5月31日）  
都建設局河川部と連携し、水防月間に関するパネルを展示
- ・夏休み特別企画展（7月22日～8月23日）  
小・中学生を対象にした地震及び津波に関するパネル展示
- ・夏休み子ども防災体験（8月5日～8月7日）  
地震及び煙体験のほか、親子で逃げ遅れた人を助ける体験
- ・防災週間・救急医療週間特別企画展（8月30日～9月15日）  
家具転対策の促進、応急手当の推進及び消防団員の入団促進
- ・都民の日特別企画展（10月1日）親子で消防防火衣撮影会
- ・土砂災害防止月間資料展示（10月20日～11月1日）  
都建設局河川部と連携し、土砂災害防止に関する絵画と作文の展示
- ・秋の火災予防運動特別企画展（11月7日～11月15日）  
火災予防運動推進のパネル展示、防火ぬりえコーナーの設置
- ・クリスマス特別企画展（12月23日～12月25日）  
身近な事故防止クイズ、エアークリア風船割りゲーム及び防災アニメの上映
- ・防災とボランティア特別企画展（1月9日～1月21日）  
災害時支援ボランティア制度及び活動の周知と登録促進等
- ・春の火災予防運動特別企画展（2月25日～3月7日）  
火災予防運動推進のパネル展示、防火防災クイズの実施

## II 収益事業等

### 防災・救急関係図書等販売事業（収1-1）

防火・防災、救急に関する図書、資器材等の販売、法令に基づく防火対象物の認定証頒布等、次の事業を実施した。

- 1 防火・防災、救急関係図書の販売事業
- 2 防火・防災、救急関係資器材の販売事業
- 3 防火セイフティマーク、優良防火対象物認定証等の頒布事業
- 4 優良防火対象物適合状況調査等事業

### Ⅲ その他法人の目的を達成するために必要な事業

#### 1 協会上申による表彰関係

- (1) 黄綬褒章 (1名)
- (2) 消防庁長官賞
  - ア 危険物保安功労 (1名)
  - イ 消防設備保守功労 (1事業所)
- (3) 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長賞
  - ア 消防設備保守功労 (5名 1事業所)
  - イ 防災安全功労 (1名 1団体)
- (4) 一般財団法人全国危険物安全協会理事長賞
  - ア 危険物保安功労 (2名)
  - イ 優良危険物関係事業所 (1事業所)
  - ウ 退任感謝状 (1名)
- (5) 関東甲信越地区危険物安全協会連合会長賞 (7名 2事業所)

#### 2 協会理事長による表彰

- (1) 防災安全功労 (59名 18事業所)
- (2) 危険物保安功労 (33名 45事業所)
- (3) 消防設備保守功労 (15名 15事業所)
- (4) 協会運営等功労 (40名 21事業所)
- (5) 協働団体役員等功労 (53名 2団体)

#### 3 システム整備の推進

受講管理システムの再構築を実施し、インターネットによる救命講習の受講申請者に対するサービス向上と業務の効率化を図った。

### Ⅳ 協会の運営管理

#### 1 評議員会及び理事会の開催に関すること

- (1) 評議員会
  - ア 第24回評議員会 (平成28年6月20日)
    - 第1号議案 「平成27年度決算報告について」
    - 第2号議案 「評議員の補欠選任について」
    - 第3号議案 「理事の補欠選任について」
  - イ 第25回評議員会 (平成29年3月13日)
    - 第1号議案 「定款の一部改正について」
    - 第2号議案 「評議員の補欠選任について」
    - 第3号議案 「理事の補欠選任について」
    - 第4号議案 「役員報酬の改定について」
- (2) 理事会
  - ア 第28回理事会 (平成28年6月3日)
    - 第1号議案 「平成27年度事業報告について」
    - 第2号議案 「平成27年度決算報告について」
    - 第3号議案 「公益法人定期提出書類について」
    - 第4号議案 「第24回評議員会(6月期)の招集の議案の変更について」



- イ 第29回理事会（平成28年12月26日）「決議の省略」  
第1号議案 「第25回評議員会（3月期）を招集することの決定」
- ウ 第30回理事会（平成29年3月3日）  
第1号議案 「第25回評議員会の議案の追加について」  
第2号議案 「平成29年度事業計画について」  
第3号議案 「平成29年度収支予算について」  
第4号議案 「第26回評議員会（6月期）の招集について」

## 2 防災関係団体等との連携交流

防災関係団体等との連携交流を目的として、平成29年1月16日に賀詞交換会を実施した。

## 3 インターンシップの受け入れ

首都大学東京が開講する科目「現場体験型インターンシップ」の実習として、救急事業部（2名）、池袋防災館（2名）及び立川防災館（2名）において、合計6名の実習生を受け入れた。

## 4 会計監査等の実施

- (1) 監査法人による公益法人会計監査（期末監査）  
平成28年5月16, 17, 18日
- (2) 監事による平成27年度事業、決算監査  
平成28年5月24日
- (3) 東京都生活文化局都民生活部監査法人課による立入検査の実施  
平成28年9月8日
- (4) 監査法人による公益法人会計監査（期中監査）  
平成28年11月14, 15日

## 5 職員募集活動の実施

平成29年度職員募集活動として協会業務説明会を実施した。  
平成28年6月8, 9, 15, 16日

## V 主な視察・取材対応

### 1 視察対応

市議会議員をはじめ、NATO軍事委員会、各国大使館等、国内外40団体が当協会の視察に来訪した。

### 2 取材対応

国内外の報道機関等から、当協会に対し75件の取材が行われ、防火防災意識や応急手当等の普及啓発の向上が図られた。

## 事業報告の附属明細書

平成28年度は、定款第8条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。